



子育て安心 明るい未来のまち ひろげよう、子育ての輪

お問い合わせは
各電話番号へ

沼津の子どもたちの健やかな成長を応援します。支援サービスやイベント情報を get して、子育てを楽しみましょう！

講座教室 パバと一緒に「できた!」を自信につなげる親子大運動会!

とき 3月4日(日)

部門	時間	内容
未就園児(あんよ)の部	10時15分～11時30分	パバとの時間を満喫!ちびっこ大運動会
年少～小学生の部	13時15分～14時30分	運動が好きな人しかけがたつぶり!

ところ 看護専門学校体育館(大諏訪)
対象 市内に住むか通勤する父親(または祖父)とその子ども

定員 各部門子ども30人(先着順)

持ち物 飲み物、タオル、着替え、体育館シューズ

申込方法 1月22日(月)、9時から部門、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号をメールまたは専用フォームで

※動きやすい服装でご参加下さい。

④④地域自治課 ☎055-934-4807
メールアドレス kyodo@city.numazu.lg.jp

講座教室 3歳児キッズクッキング教室

とき 2月8日(木)、3月8日(木)、いずれも10時～13時

ところ 保健センター調理室

対象 市内に住む平成26年10月1日～平成27年4月1日生まれの子とその保護者

定員 各18組(先着順)

参加料 1人220円(食材費、保険料)

持ち物 母子健康手帳、手拭きタオル、エプロン・バンダナ(幼児用も)、幼児用スプーン・フォーク

申込方法 1月24日(水)、8時30分から電話で
④④健康づくり課(保健センター) ☎055-951-3480

お知らせ 幼児眼の相談

とき 1月25日(木)、2月22日(木)、3月22日(木)、いずれも14時40分から

ところ 保健センター

内容 視力検査、目に関する相談(1人20分程度)

対象 3歳から未就学児

定員 各3人(先着順)

申込方法 1月22日(月)、9時から電話で
④④健康づくり課(保健センター) ☎055-951-3480

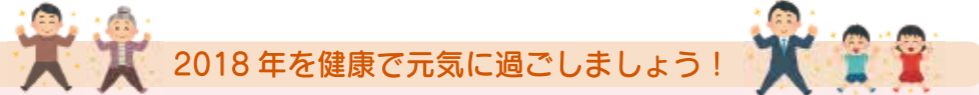


information

お知らせ

保健センターからのお知らせ

④④健康づくり課(保健センター)
☎055-951-3480



◆臨床心理士によるストレス相談

誰もがストレスを抱える時代の中で、こころの不調が長引き重症化する前に早く気がつくことが大切です。

とき ①2月10日(土)、13時～15時
②3月13日(火)、13時30分～15時30分(1人1時間程度)

ところ 保健センター

対象 18歳以上でこころの不調が心配な人(通院していない人)またはその家族

定員 各3人(先着順)

申込方法 1月22日(月)、8時30分から電話で

不妊・不育症治療費助成

対象治療 一般不妊治療(人工授精含む)、特定不妊治療(男性不妊治療含む)、不育症治療

助成金額 保険診療分を含むすべての治療費の2分の1の額で、一夫婦につき年額上限30万円

助成期間 通算5年間

※対象者や申込方法等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

◆健康度測定コーナー

正月明けで体重が気になる人や、運動効果を知りたい人、骨密度を一度も測定したことがない人はぜひご利用下さい。

とき 平日、9時～16時15分

ところ 保健センター

内容 骨密度測定、体組成測定(内臓脂肪レベルや筋肉量など)、一酸化炭素濃度測定、健康・栄養相談

対象 市内に住む20歳以上の人

持ち物 健康手帳(持っている人)

申込方法 電話で

予防接種券発行等の休日窓口

定期予防接種を受ける場合は接種券が必要です。券がない場合は再発行します。

とき 2月24日(土)、8時30分～12時

ところ 保健センター

内容 定期予防接種券(子ども・成人)発行、予防接種についての相談等

持ち物 母子健康手帳(子どもの場合のみ)

※休日窓口では、予防接種を受けることができません。



広報ぬまづ 検索

市では、市民の皆さんの意見や要望を今後の市政運営に反映するため、毎年度市民意識調査を実施しています。今年度の結果を一部抜粋し、その概要を紹介します。

調査期間 平成29年6月20日～7月3日 回答方法 郵送及びインターネット
対象 満18歳以上の市民2,100人(無作為抽出) 回収率 51.7%

生活をもっと便利にするスマートインターチェンジ

Q 駿河湾沼津スマートインターチェンジ(IC)が開通したことにより、生活が便利になると感じますか?

A 約7割の市民の皆さんが「便利になる」と感じています。

生活が便利になると感じた人が69.7%と高い割合で利便性を感じています。ICに近い原・愛鷹・浮島地区が特に高い結果となりました。

昨年度実施した市民意識調査の「愛鷹スマートICに関する調査」でも、65.1%が生活が便利になると回答しています。また、主な利用目的は観光・レジャー、買い物などという結果も見られました。



身近な防災対策から始めてみましょう

Q 自分や家族を守るため、あなたがやっている防災対策はどのようなことですか?

A 飲料水や食料、非常用持ち出し品の準備をしている人が多い結果となりました。

日頃行っている防災対策(複数回答)については、「飲料水や食料の準備」が46.8%で最も多く、次いで「非常用持ち出し品の準備」が38.2%と自分でできる防災対策をしている人が多く見られました。

Q 市が行う防災対策で、必要なものは何だと思えますか?

A 想定される被害に合わせた市の防災対策が求められています。

津波被害が心配される地区を筆頭に、「避難地、避難路の整備」を期待する人が多く見られ、いずれの地区でも「生活物資、防災機材の備蓄」に対するニーズが高い傾向にあります。

多様化するライフスタイルに合わせた情報発信

Q 今後、市から情報を得る上で、利用したい媒体は何ですか?

A 半数以上が今後も「広報ぬまづ」から市政情報を得たいとの声。10代・20代では「スマホ」が「広報ぬまづ」を大きく上回りました。

市政情報を得る上での利用媒体については、「広報ぬまづ」が63.2%、「スマホ」が19.0%、「パソコン」が6.8%となりました。

今後も「広報ぬまづ」を利用し、市からの情報を得たいとの声がありますが、年代別で見ると10代・20代においては「スマホ」が「広報ぬまづ」を大きく上回ったため、スマホをはじめとする様々な媒体のバランスを保ち、引き続き積極的な情報発信に取り組めます。

Q 市ホームページをどの端末で利用しますか?

A 「パソコン」と「スマホ」がほぼ拮抗しています。40代でも、「スマホ」での利用率が高くなりました。

市ホームページの利用については、「パソコン」が24.7%と最も高く、「スマホ」が21.1%となりました。この結果から市ホームページについてはスマホなど様々な機器での利用に対応していく必要があります。

※まちづくり、省エネ・省資源行動等その結果の詳細は、市ホームページをご覧ください。

広報ぬまづ 検索

information

お知らせ

市民の皆さんの声を市政に活かす 「平成29年度市民意識調査」の結果報告

④広報広聴課(市民相談センター)
☎055-934-4702